

琵琶湖ハンドブック三訂版（本編および概要版）作成について

1 琵琶湖ハンドブック三訂版

発行予定：平成 30 年 3 月

(1) 目的

琵琶湖ハンドブックは、琵琶湖の姿を幅広く、わかりやすく紹介し、知識や情報の共有により琵琶湖への理解や関心を高めるため、平成 19 年 3 月に滋賀県が発行、平成 24 年 3 月に改訂した冊子。改訂版の発行から 5 年が経過し、内容や情報の更新が必要であることから、琵琶湖ハンドブックの三訂版を作成する。

(2) 主な改訂内容

- ・琵琶湖の「多様性」という側面をより強く打ち出すことを意識した構成
- ・改訂版発行以降の琵琶湖に関連する新たな動きを掲載
- ・具体的には、琵琶湖八珍、日本遺産、侵略的外来水生植物、世界農業遺産、琵琶湖保全再生計画、国立環境研究所琵琶湖分室などのほか、第 3 章「人の歴史」（稲作の歴史・里山の歴史、仏教美術）、第 7 章「生き物」プランクトンなどを充実し、SDG s を含む内容とする。

(3) 仕様等 サイズ：A5 判（256 頁、フルカラー） 部数：2,500 部（無償配布）

2 琵琶湖ハンドブック概要版（名称検討中）

発行予定：平成 30 年 3 月

(1) 目的

多くの方に琵琶湖のことを知っていただき、関心を深めるきっかけとなる冊子を作成する。

(2) 編集方針

- ・琵琶湖学習の入門編として、琵琶湖の価値や現状など基本情報を中心に掲載する。
- ・関心のある分野をさらに深く学習できるように、琵琶湖ハンドブック（三訂版）へのリンク、博物館等施設の紹介、ノートとして利用できるメモ欄などを設ける。

(3) 仕様等 サイズ：A5 判（20 頁、フルカラー） 部数：15,000 部（希望に応じて配布）

(4) 構成内容（案） ※ハンドブック同様に検討チーム会議において現在検討中

- ・琵琶湖はどんな湖か （大きさ、固有種、古代湖など）
- ・琵琶湖と人の長いつきあい （遺跡、湖上交通など）
- ・湖の生き物 （プランクトン、魚、水鳥、ヨシ原など）
- ・水とともにある暮らし （日本遺産、水利用、洪水など）
- ・琵琶湖の恵みをいただく （漁業、湖魚料理、こだわり農業など）
- ・琵琶湖と人とのよりよい共生を目指して（森・里・川と湖での取組など）
- ・琵琶湖を知る学びの場 （環境学習、博物館等施設紹介など）

3 ハンドブック改訂に係る監修、検討チーム構成員

監修：琵琶湖環境科学研究センター 内藤正明

琵琶湖環境部	石河 康久
琵琶湖環境科学研究センター	東善広、石川可奈子、一瀬諭、早川和秀
琵琶湖博物館	芳賀裕樹、橋本道範、松田征也
琵琶湖環境部琵琶湖政策課	小松直樹
琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課	中村 達也